

HYOGO

農林水産業の概要



令和6年6月

近畿農政局兵庫県拠点

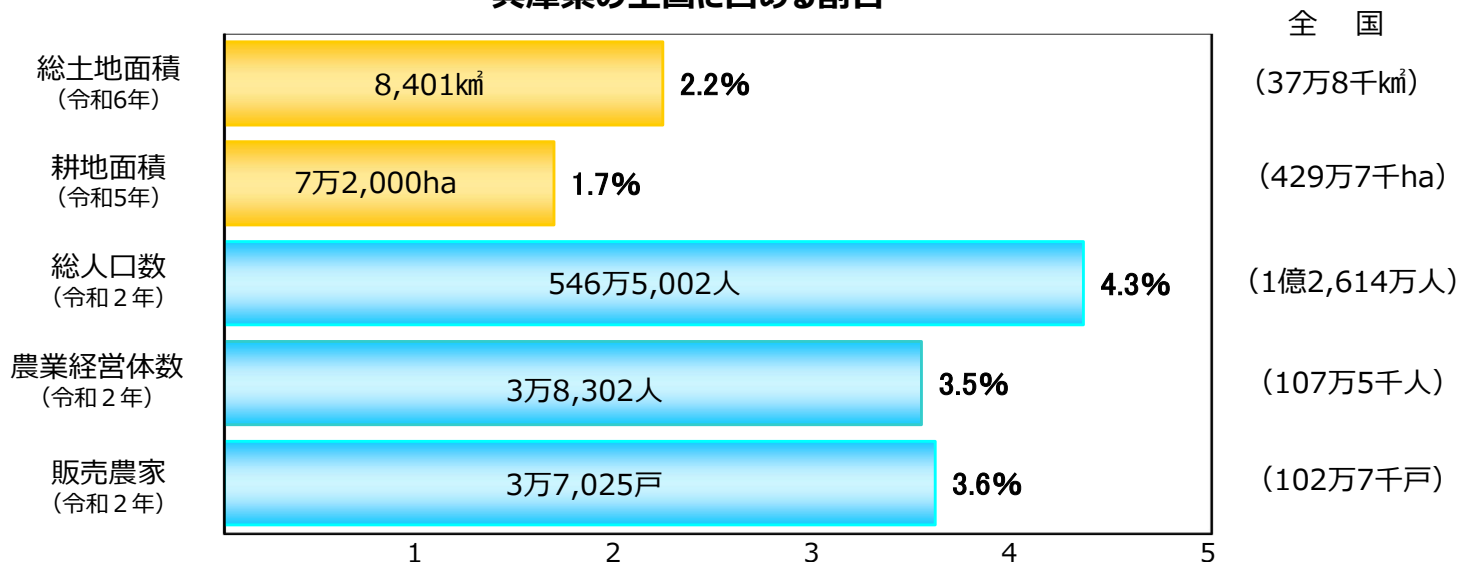
MAFF

面積と人口

◇兵庫県は、北は日本海、南は瀬戸内海に面し、南北に長い県域を持ち、日本の標準時を定める子午線（東経135度）が通っています。

◇総土地面積は全国土の2.2%（全国12位）、人口は総人口の4.3%（全国7位）、耕地面積は全国の1.7%、販売農家数は全国の3.6%となっています。

兵庫県の全国に占める割合



主な農林水産物

たまねぎ

淡路島たまねぎは、明治時代からの歴史があるブランド野菜。他産地と比べやわらかく、甘味があっておいしいとの評価。

(収穫量全国2位)



レタス

南あわじ市が主な産地で10月中旬から翌年5月末まで収穫が可能。温暖な気候から水稲やたまねぎとの三毛作で発展。(収穫量全国6位)



カーネーション(切り花類)

淡路島が産地で、温暖な気候で日照量が多いことから、日持ちが良く、花色が豊富なのが特徴。

(出荷量全国4位)



米(酒米含む)

米の収穫量は、全国14位である。兵庫県で誕生した酒米の山田錦は全国57%のシェアを誇る。

(酒米の農産物検査数量全国1位)



肉用牛

指定生産者が「但馬牛」を兵庫県内で飼育し、霜降りの度合いや枝肉重量など厳しい条件を満たした牛肉は「神戸ビーフ」ブランドで流通。

(飼養頭数全国10位)



ずわいがに

兵庫県では「松葉がに」と呼ばれる。日本海の水深200~600mの海底に生息し、但馬の中心漁業である沖合底引網漁業により水揚げする。

(漁獲量全国2位)



養殖のり

明石海峡を中心とした潮流の速い漁場で、浮き流し方式と呼ばれる養殖方式で栽培した「兵庫のり」は色が濃く、艶がよいのが特徴。

(収穫量全国2位)



まだい

速い潮の流れの中で豊富な餌を食べ育て育つ「明石鯛」などは、全国的に有名。特に秋から冬に水揚げされるものは脂がのっており「紅葉鯛」と呼び珍重する。

(漁獲量全国1位)



資料：国土交通省国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調」、農林水産省「令和5年耕地面積(7月15日現在)」、総務省統計局「令和2年国勢調査結果」、農林水産省「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和4年産野菜生産出荷統計」、「令和4年産花き生産出荷統計」、「令和4年産米の農産物検査結果」、「令和5年産作物統計」、「令和5年畜産統計」、「令和4年漁業・養殖業生産統計」

各地域の特色

◇兵庫県は、但馬・播磨・丹波・摂津・淡路の旧五国からなり、ほぼ中央を東西に横切る中国山地を境に、北側は冬に降水量の多い日本海岸気候区に、南側は冬に乾燥した晴天が続き雨も少なく温かな瀬戸内気候区に分けられます。変化に富んだ地形と気候が生み出す多様な自然環境のもと、それぞれの地域で特色ある農産物や食文化が根つき、地域特性を活かした農林漁業が営まれています。

但馬地域

山間部ではブローラー、肉用牛（但馬牛）等の畜産がさかんです。

高冷地を利用した野菜栽培（だいこん、キャベツ）のほか、水稲、ピーマン、山椒の栽培もさかんです。

日本海では松葉ガニ（ずわいがに）やハタハタなど多くの水産物が水揚げされています。

丹波地域

穏やかな山々に囲まれ、水稲、畜産（肉用牛等）を主体に、黒大豆、えだまめ、小豆、やまのいも、くりのほか、生しいたけ等の特産物の栽培が行われています。

阪神（旧摂津）地域

都市近郊の立地条件を生かした葉物野菜、果樹のほか、酪農、花木庭園樹等、多様な農業が都市的環境に配慮しつつ、営まれています。

播磨地域

平野部では、水稲（酒米等）、六条大麦、採卵鶏、酪農、野菜（キャベツ、ほうれんそう、れんこん等）を主体とした都市近郊型農業が営まれています。

中山間部では稲作を主体とし、乳用牛やたけのこ、生しいたけ等の栽培がさかんです。

沿岸部ではしらす、まだいの水揚げのほか、のりやカキなどの養殖業が営まれています。

淡路地域

温暖な気候と立地条件に恵まれ、稲作、野菜（たまねぎ、レタス、はくさい、キャベツ等）、施設花き（カーネーション、ストック、きく、きんせんか等）、畜産（肉用牛、酪農等）といった多品目にわたる農業が営まれています。

また、潮流の変化が大きい瀬戸内海では、しらす、いかなご、まだい、のり（養殖）など多様な漁業が営まれています。

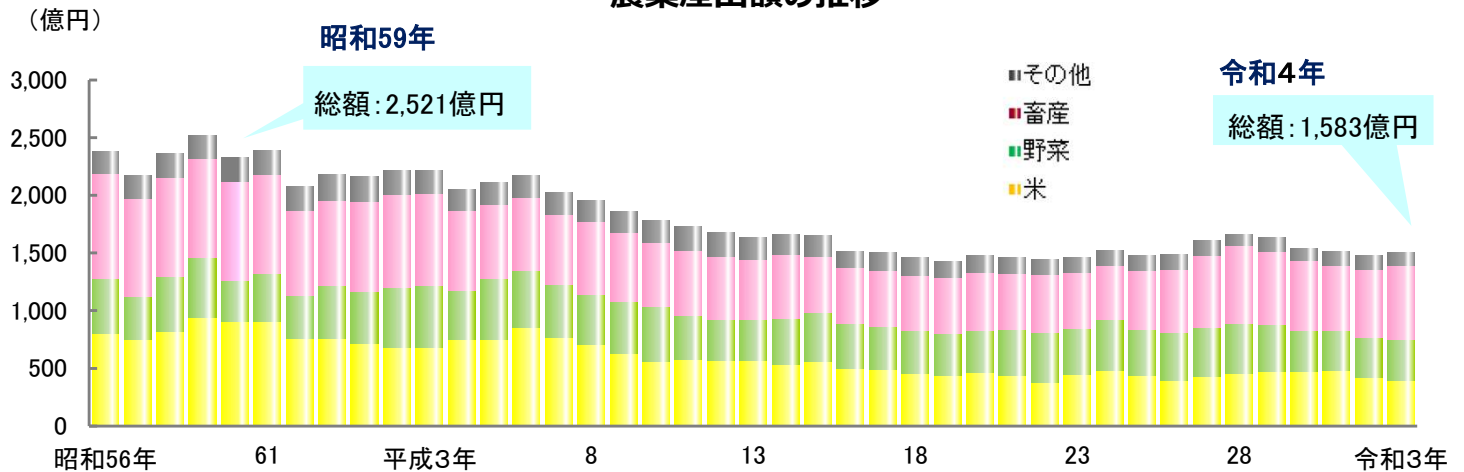


農業産出額

◇令和4年の農業産出額は1,583億円（全国20位）で、近畿地方（6府県）の約3割（近畿1位）を占め、京阪神都市圏の食料生産の重要な役割を担っています。

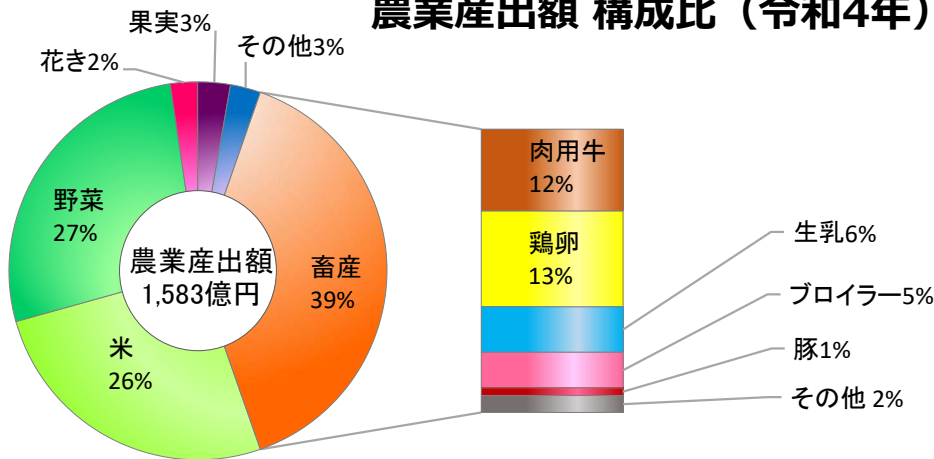
◇産出額の高い主な生産品目は、米、畜産物（肉用牛、鶏卵、生乳、ブロイラー）、たまねぎやレタスなどの野菜であり、これら上位7品目で、農業産出額の74%を占めています。

農業産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

農業産出額 構成比（令和4年）



※四捨五入しているため100%にならないことがあります。

主な上位品目（令和4年）

たまねぎ	みずな	カーネーション
①北海道	①茨城	①長野
②兵庫	②福岡	②愛知
③佐賀	③京都	③千葉
④長崎	④兵庫	④兵庫
⑤愛知	⑤滋賀	⑤長崎

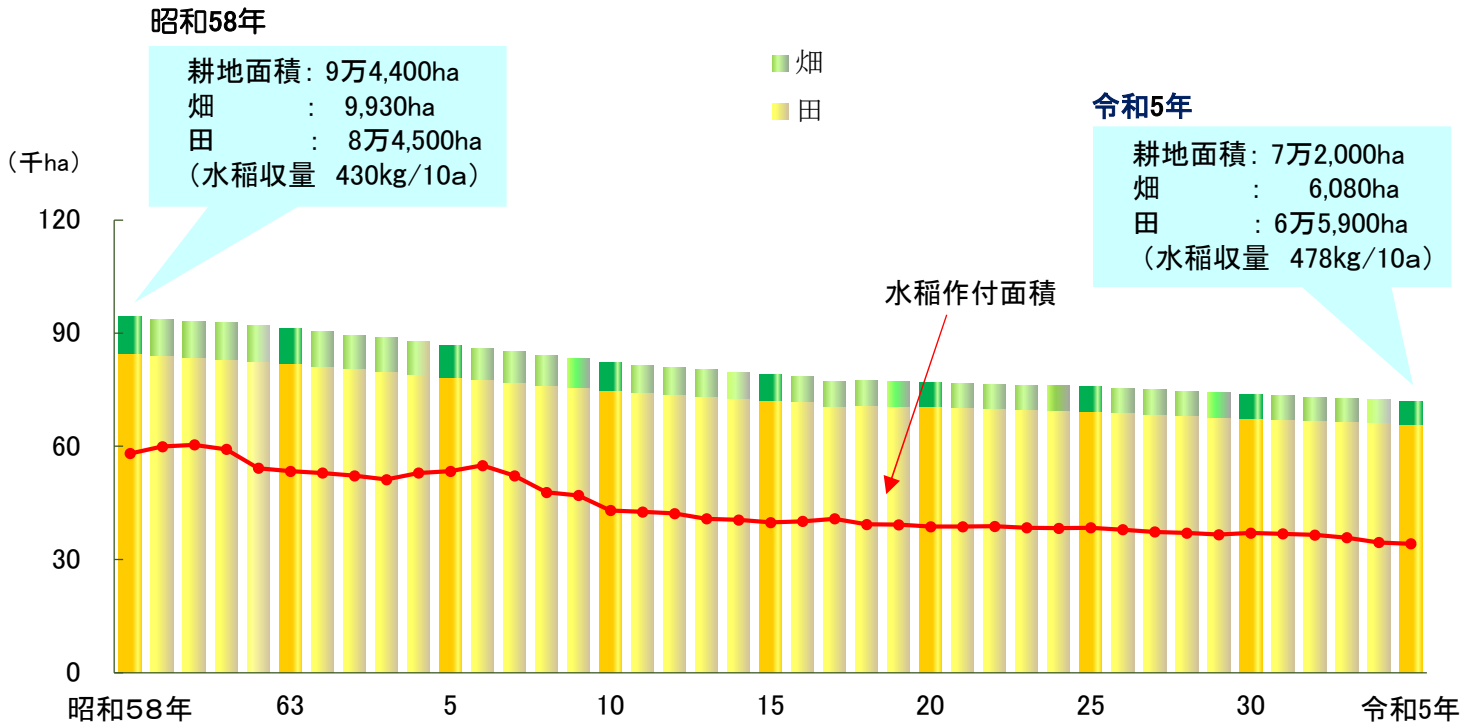


資料：農林水産省「令和4年生産農業所得統計」

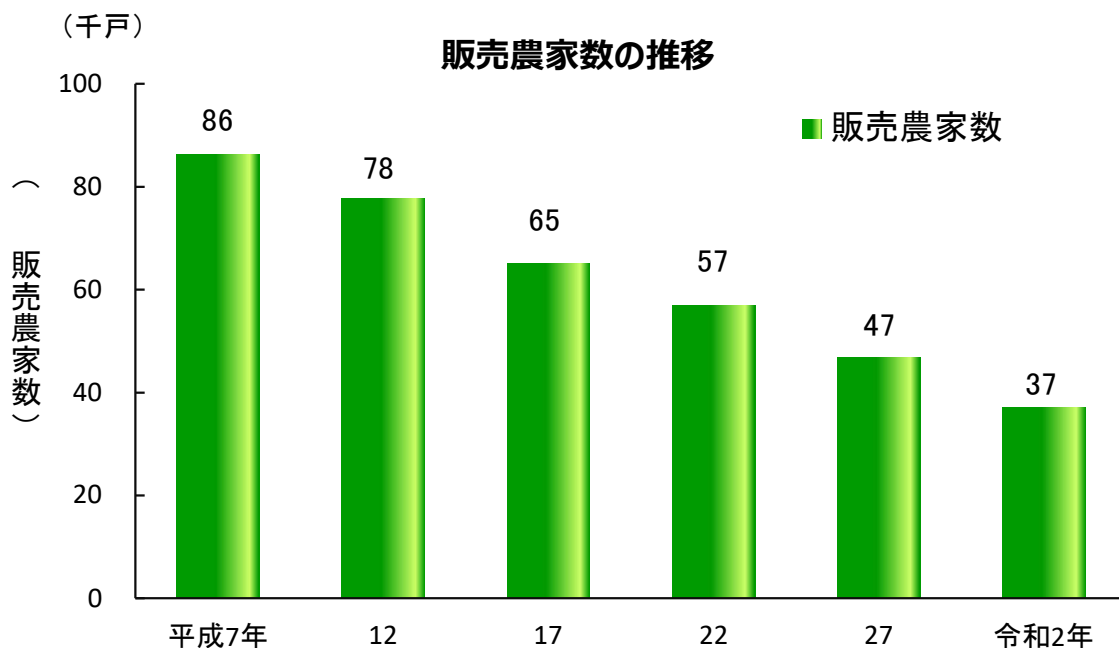
耕地面積、販売農家数

- ◇耕地面積は、宅地転用等により減少傾向が続いています。
- ◇耕地に占める水田率は91%を超えています（全国3位）。
- ◇販売農家数は37,025戸で、5年前に比べて21%減少しています。

耕地及び水稲作付面積の推移



資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」、「作物統計」



資料：農林水産省「農林業センサス」

農業経営体

◇農業経営体のうち、個人経営体は37,120経営体で、5年前に比べ20.9%減少したが、団体経営体は1,182経営体で19.6%増加しました。団体経営体のうち、法人経営体は649経営体で、5年前に比べ会社法人は70.5%、農事組合法人は56.3%増加しました。

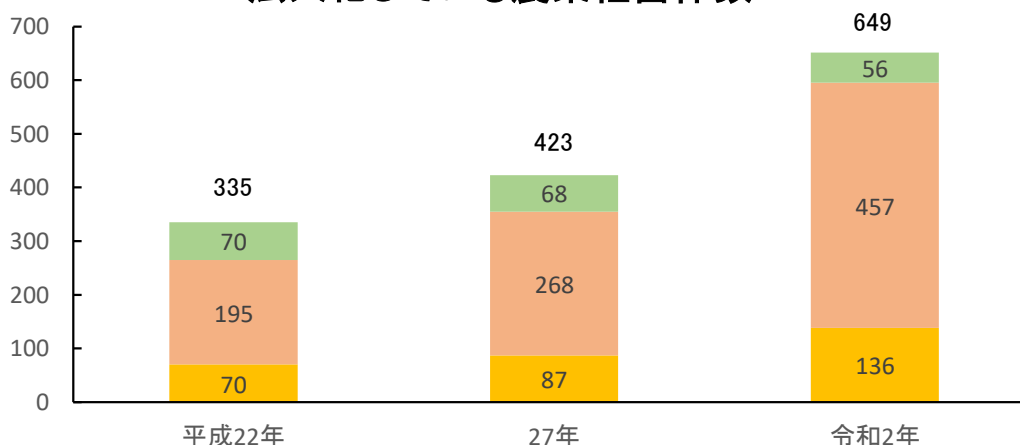
◇農業経営体の経営耕地面積規模別に経営耕地面積割合をみると、5ha以上の農業経営体が31.4%を占め、5年前と比べ8.2ポイント上昇しました。

農業経営体数

単位：経営体

区分	農業経営体	個人経営体	団体経営体	
			会社法人	農事組合法人
平成22年	57,766	56,861	905	335
平成27年	47,895	46,907	988	423
令和2年	38,302	37,120	1,182	649
増減率				
平成27年/22年	△17.1	△17.5	9.2	26.3
令和2年/平成27年	△20.0	△20.9	19.6	53.4

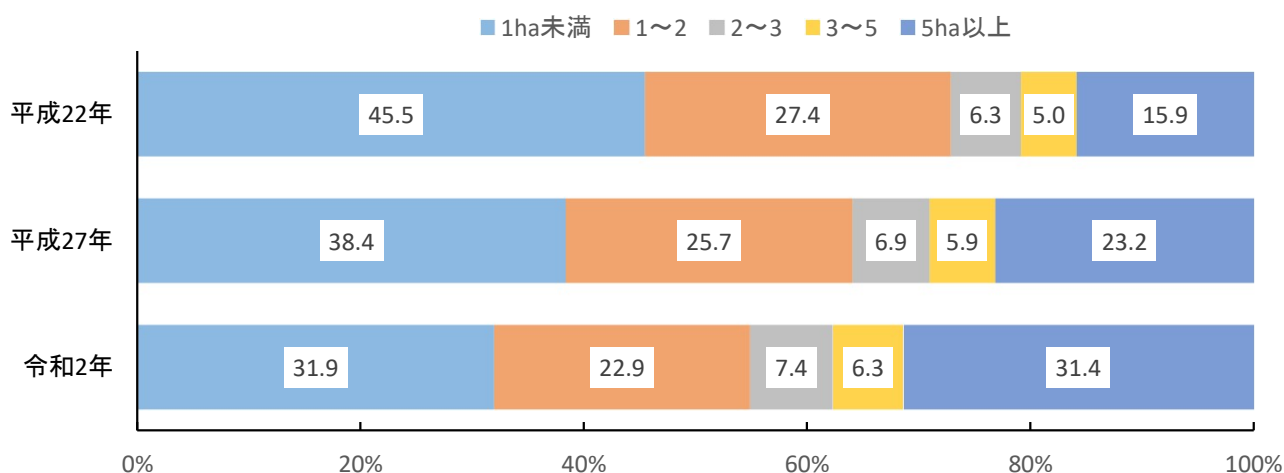
法人化している農業経営体数



資料：農林水産省「農林業センサス」

■ 農事組合法人 ■ 会社法人 ■ その他

経営耕地面積規模別経営耕地面積の集積割合

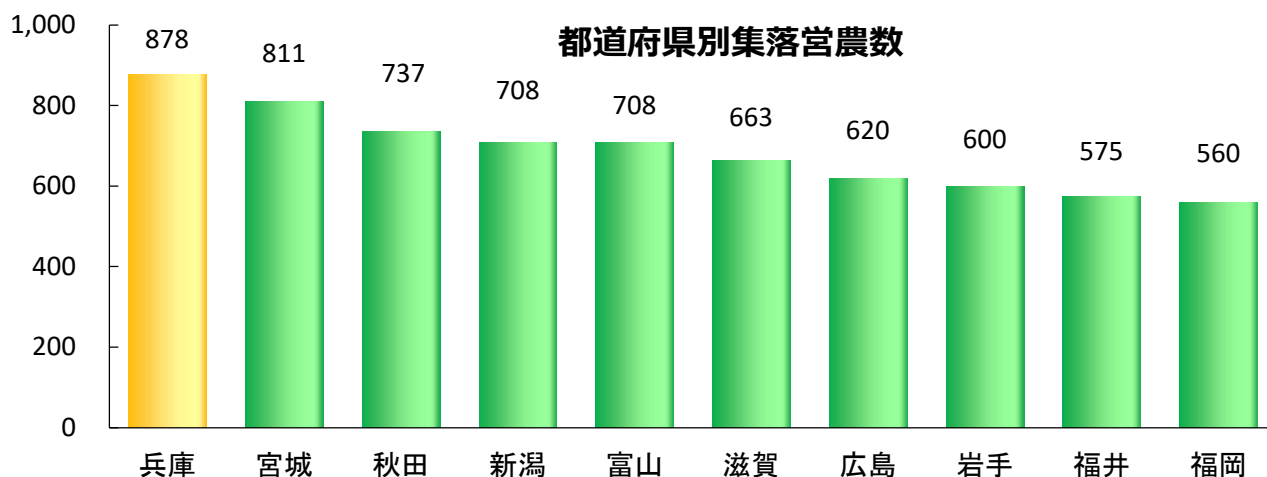


資料：農林水産省「農林業センサス」

農業の持続的発展に向けた、集落営農化の推進

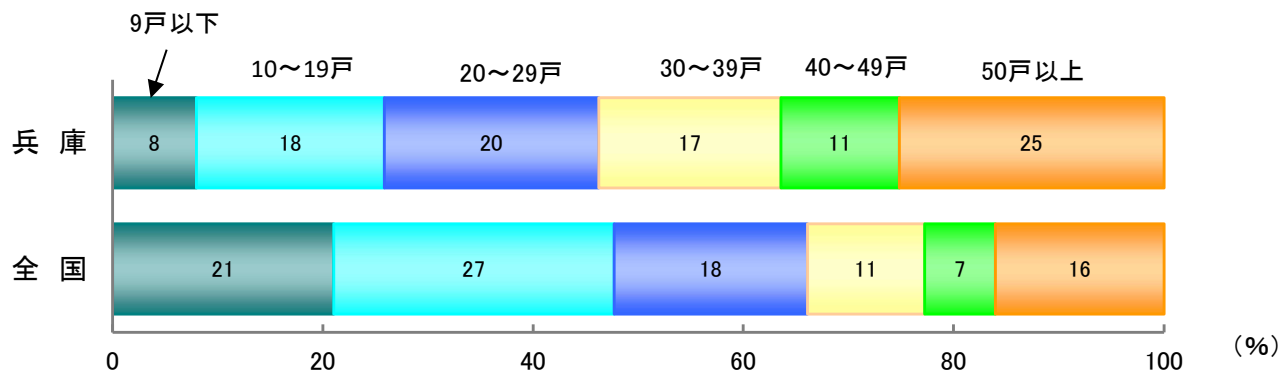
- ◇集落営農数は878で、全国第1位となっています。
- ◇構成する農家数をみると、50戸以上で構成されている集落営農が最も多く（約25%）、全国に比べて構成農家数が多い傾向となっています。
- ◇現況集積面積別にみると、20ha以上を集積している集落営農が約19%で、全国に比べて小規模となっています。

(集落営農)



資料：農林水産省「令和5年集落営農実態調査報告書」

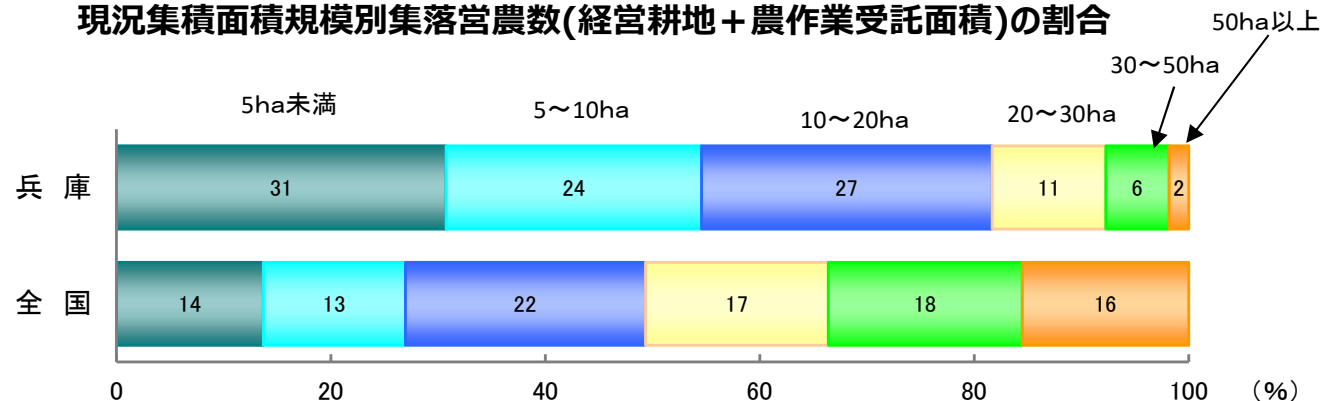
構成農家数別集落営農数の割合



資料：農林水産省「令和5年集落営農実態調査結果報告書」

※四捨五入しているため100%にならないことがあります。

現況集積面積規模別集落営農数(経営耕地+農作業受託面積)の割合



資料：農林水産省「令和5年集落営農実態調査結果報告書」

※四捨五入しているため100%にならないことがあります。

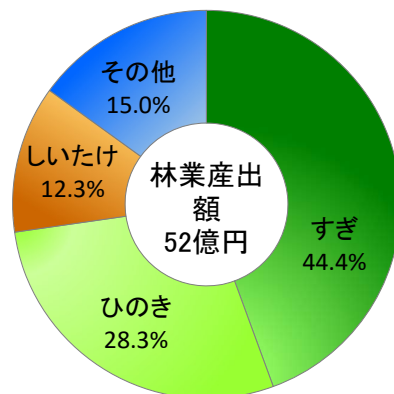
林業産出額、林業経営体、林野面積

◇林業産出額は約52億円で、主な生産品目はすぎ、ひのき、しいたけ等となっており、この3品で、林業産出額の85%を占めています。

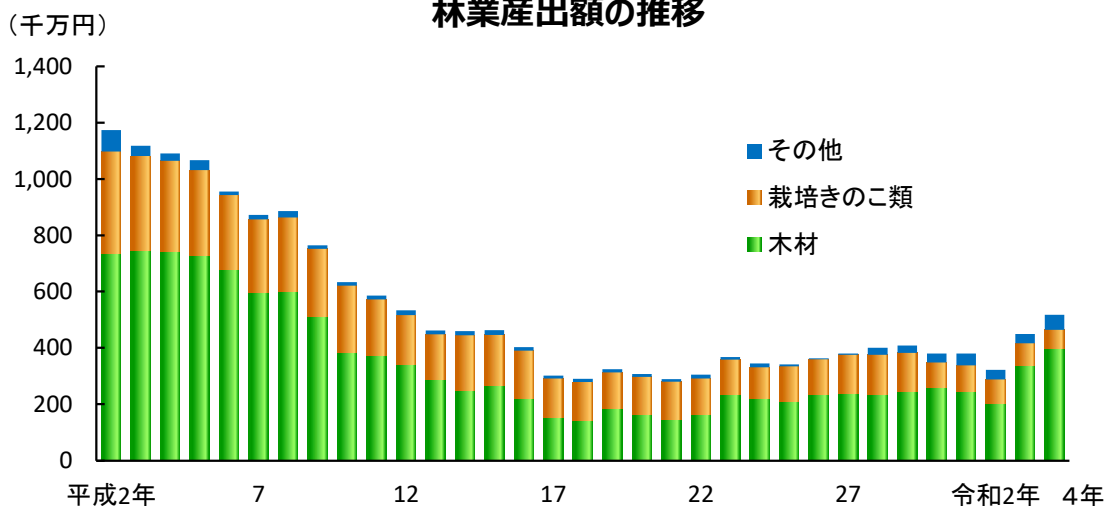
◇林野面積は、563,148ha（全国14位）、林業経営体数は514経営体で、平成17年の4,950経営体からこの15年間で、89%もの経営体が減少しています。



林業産出額構成比（令和4年）

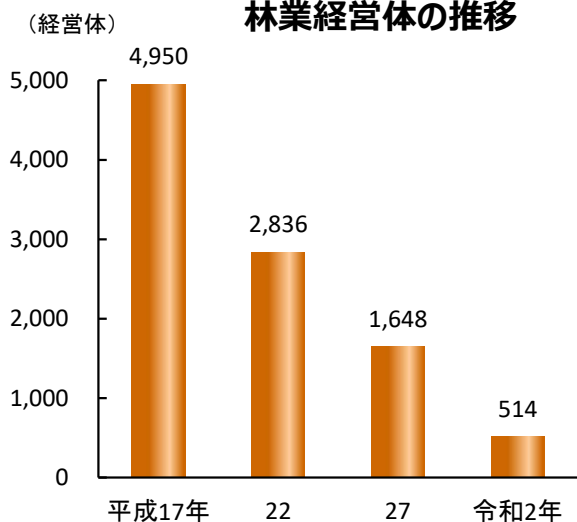


林業産出額の推移

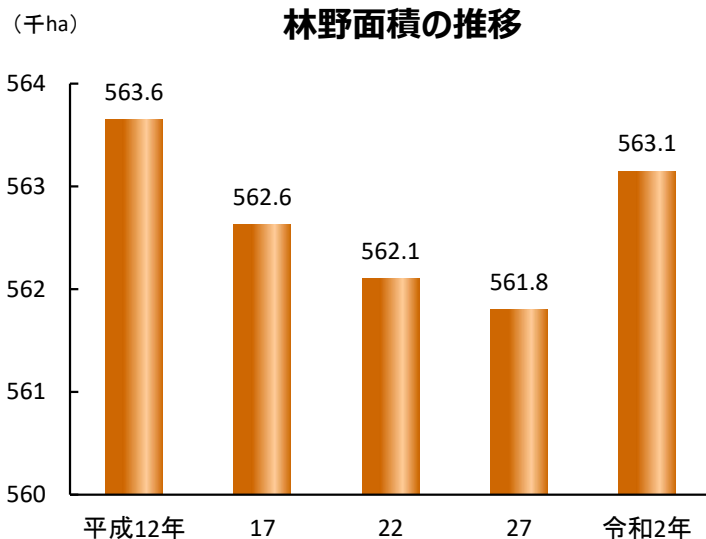


資料：農林水産省「林業産出額」

林業経営体の推移



林野面積の推移

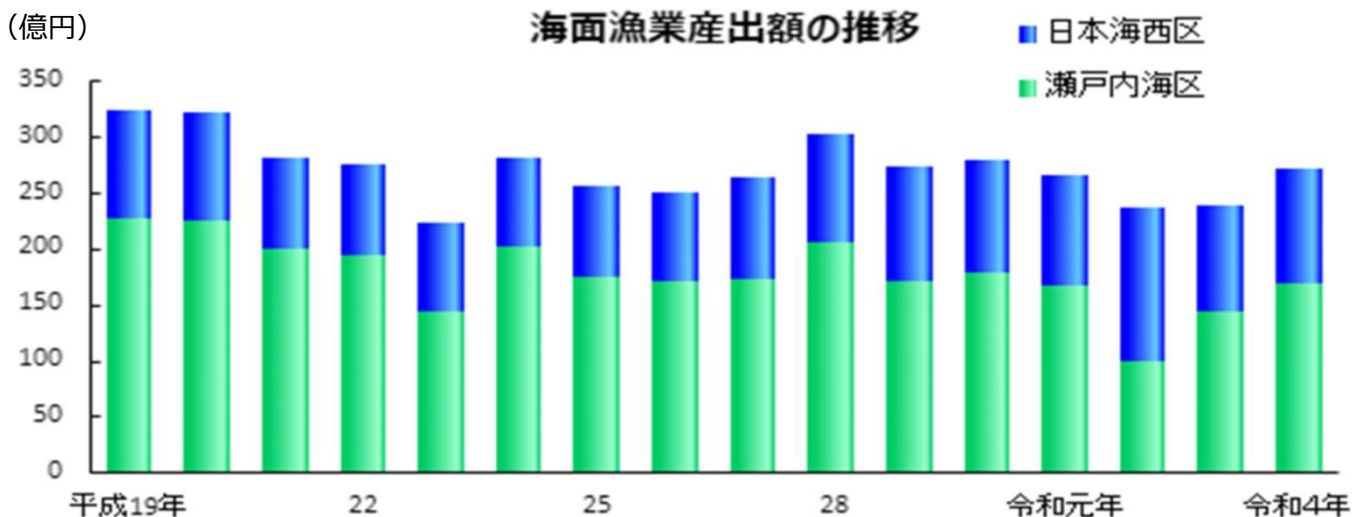


資料：農林水産省「農林業センサス」※林業経営体については、平成17年以降「農林業経営体調査」に移行したため、平成12年は未掲載。

漁業産出額

◇海面漁業産出額は271億円で、このうち、日本海西区が40%を、瀬戸内海区が60%を占めています。

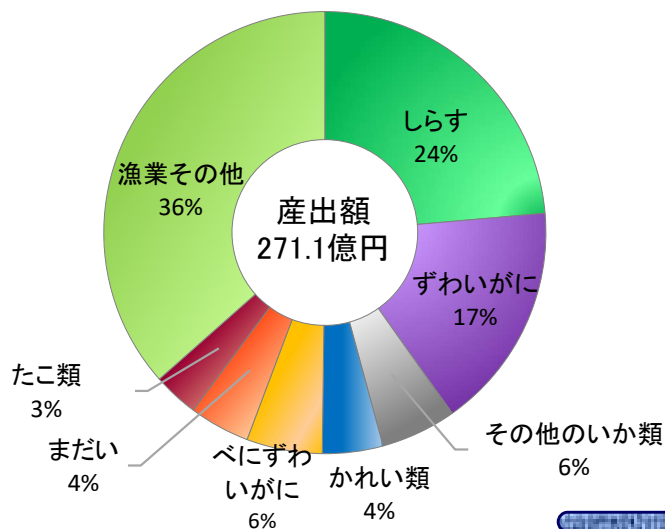
◇海面漁業および養殖業を合わせた産出額は488億円（全国8位）です。産出額の高い主な生産品目は、養殖のり類、しらす、ずわいがに、養殖かき類であり、これら4品目で、漁業産出額の63%を占めています。



資料：農林水産省「漁業産出額」

主要魚種別 海面漁業産出額及び海面養殖業産出額 構成比（令和4年）

（海面漁業算出額）

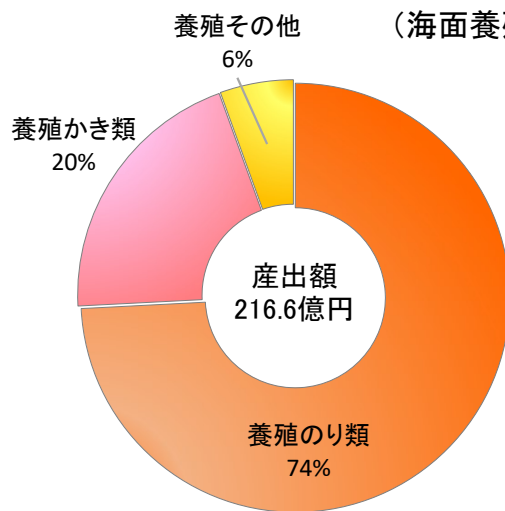


※四捨五入しているため100%にならないことがあります。



資料：農林水産省「令和4年漁業産出額」

（海面養殖業算出額）



主な上位品目（令和4年）

ずわいがに	しらす	まだい	養殖のり
①鳥取	①兵庫	①兵庫	①佐賀
②兵庫	②愛知	②長崎	②兵庫
③北海道	③静岡	③愛媛	③福岡
④福井	④大阪	④福岡	④熊本
⑤石川	⑤茨城	⑤愛知	⑤宮城

漁獲量（収獲量）、海面漁業経営体

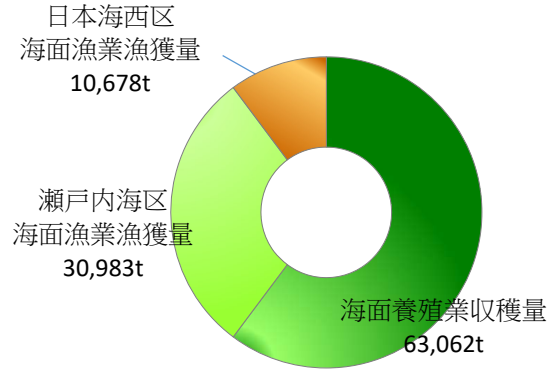
◇海面漁業の漁獲量は、41,661 t（全国17位）、海面養殖業の収獲量は、63,062 t（全国6位）で、海面漁業漁獲量と海面養殖業収獲量を合わせた生産量は、104,723 t（全国10位）となっています。

◇海面漁業の漁獲量の割合は、日本海西区が26%を、瀬戸内海区が74%を占めています。昭和47年と比較すると令和4年の海面漁業の漁獲量は、57,610 t（58%）減少しています。

◇海面漁業の経営体数は、2,712経営体（全国11位）となっています。



水産物の生産状況



※種苗養殖を除く。

昭和47年

(千t)

海面漁業漁獲量：99,271t

日本海西区：41,875t

瀬戸内海区：57,396t

海面漁業漁獲量の推移

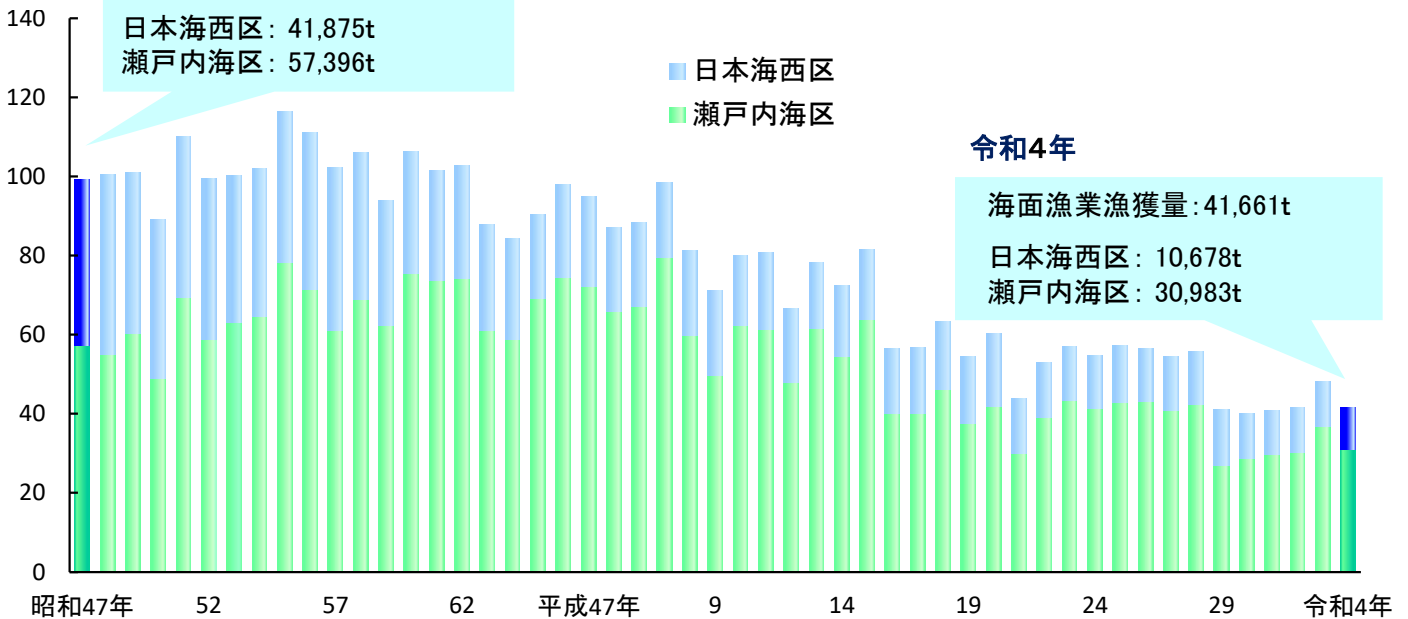
■ 日本海西区
■ 瀬戸内海区

令和4年

海面漁業漁獲量：41,661t

日本海西区：10,678t

瀬戸内海区：30,983t

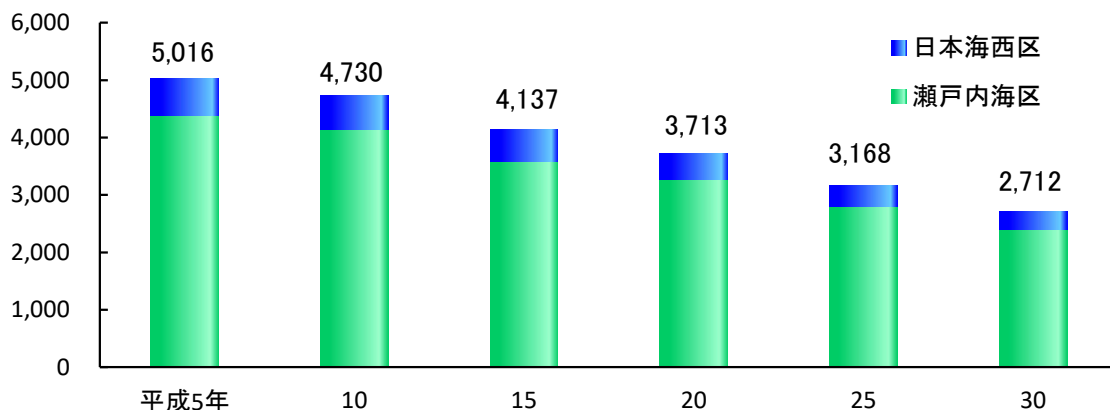


資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

(経営体)

海面漁業経営体の推移

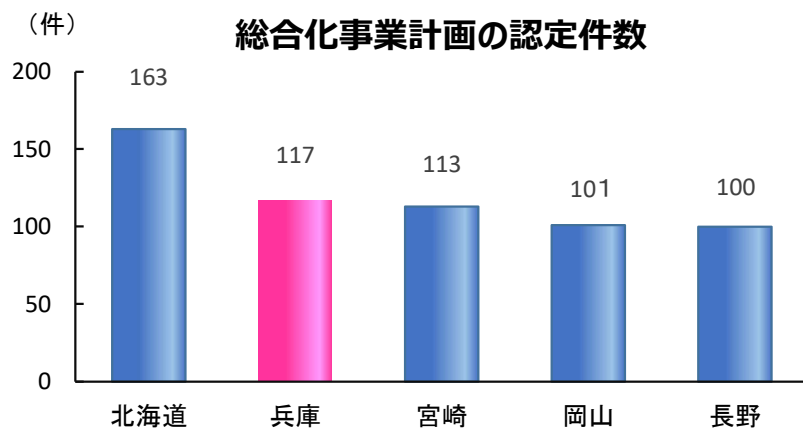
■ 日本海西区
■ 瀬戸内海区



資料：農林水産省「漁業センサス」

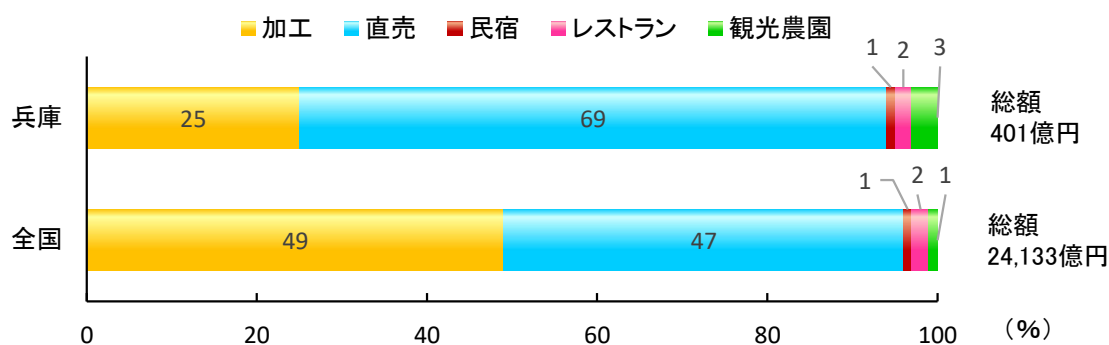
6次産業化

- ◇6次産業化の総合化事業計画認定件数は117件で、全国第2位（4.4%）となっています。
- ◇農業および漁業生産関連事業の年間販売金額は、総額で約401億円となっています。
- ◇直売所の年間販売額の割合は、全国と比較して67%と多く（年間販売額としては水産直売所が全国6位、農産物直売所が全国17位）なっています。



資料：農林水産省農村振興局（令和6年3月末日現在）

農業漁業生産関連事業の年間販売金額の割合



資料：農林水産省「令和4年度6次産業化総合調査」 ※ラウンドの関係で100%にならないことがあります。

GIの登録状況

◇伝統的生産方法と気候・風土・土壌などの生産地特性が品質特性に結び付いた産品を示す、地理的表示（GI）登録がされているのは、兵庫県では「但馬牛」「神戸ビーフ」「佐用もち大豆」「淡路島3年とらふぐ」の4品です。

登録 第2号
但馬牛



登録 第3号
神戸ビーフ



登録 第78号
佐用もち大豆



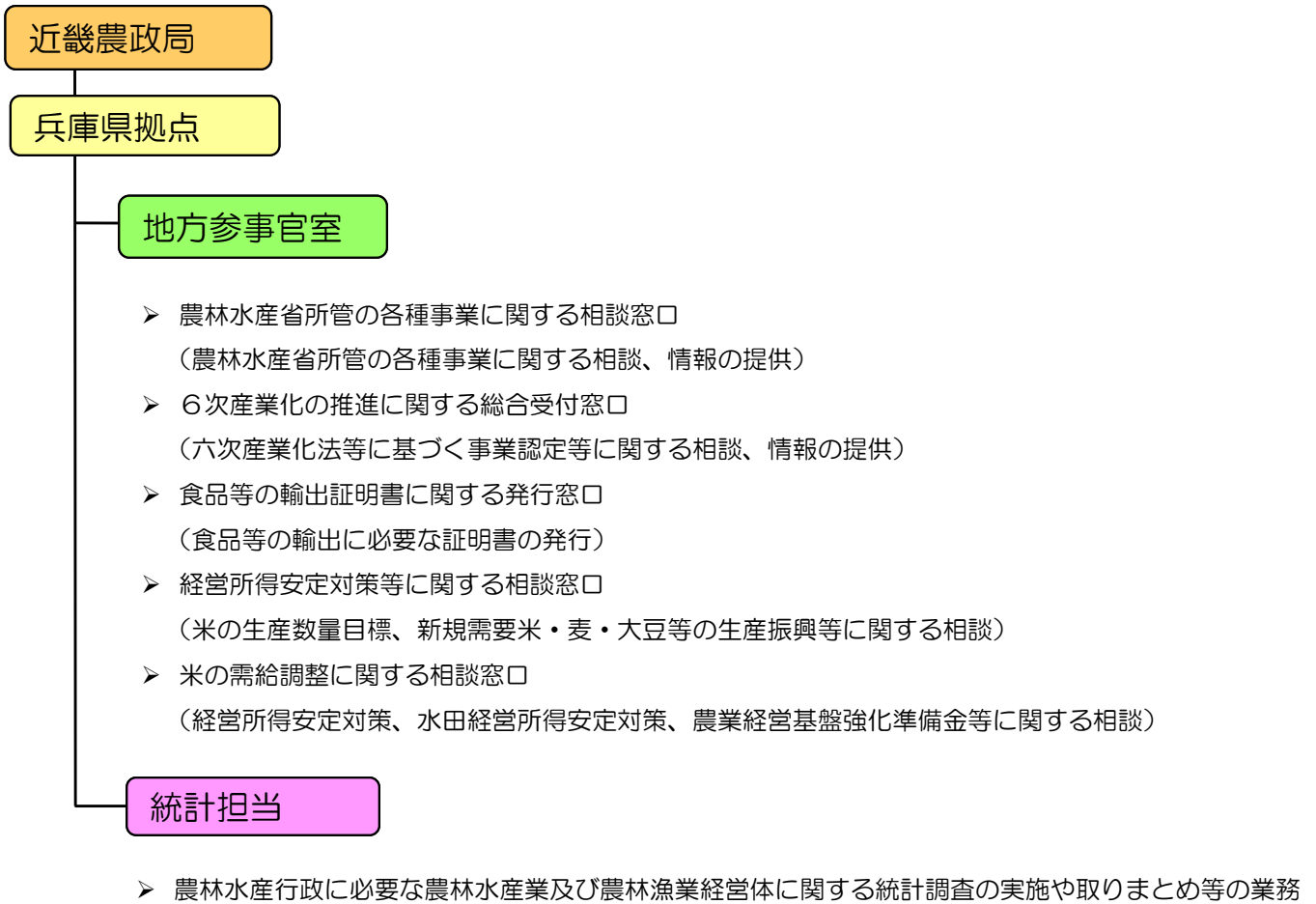
登録 第144号
淡路島3年とらふぐ



資料：農林水産省輸出・国際局（令和6年3月末日現在）

農林水産省近畿農政局兵庫拠点の組織と各種相談窓口

令和6年6月現在



農林水産省 近畿農政局 兵庫拠点

〒650-0024

神戸市中央区海岸通29番地 神戸地方合同庁舎

地方参事官室

(代表電話) TEL 078-331-9941

(農政全般に関する相談窓口) TEL 078-331-5924

(6次産業化・輸出証明書窓口) TEL 078-331-9950

(経営所得安定対策・
米の需給調整に関する相談窓口) TEL 078-331-9951

統計担当 TEL 078-391-2873

